七尾中学校　学校だより
七尾の丘
校訓　「感　考　行」
第１号
令和７年４月１８日
廿日市市平良二丁目2-34
TEL:0829-32-8200

マスコット“七王”（ななおう）

入学おめでとう!!

令和７年度第７７回入学式を４月９日（水）に挙行しました。今年度は１３５名の新入生が入学し、全校生徒３９７名で令和７年度の七尾中学校が開幕しました。歴史と伝統のある七尾中学校ですが、この生徒と教職員で過ごす１年は、後にも先にも令和７年度だけです。この出会いを大切にしましょう。

入学式での校長式辞を紹介しますのでお読みください。

＜前文略＞さて、新入生の皆さんは、これから本校での生活が始まりますが、入学にあたり二つの大切にしていただきたいことについてお話ししたいと思います。

一つ目です。**七尾中学校は生徒が主役の学校**です。主役は生徒の皆さん一人ひとりということです。先生方はそんな皆さんを支え、時には背中を押して応援します。だから、いろいろなことに積極的に挑戦してほしいと願っています。

時にはうまくいかなかったり失敗したりするかもしれませんし、失敗したらどうしようとやる前からしり込みしてしまうかもしれません。失敗は大いに結構、たくさん失敗をしてください。大切なことは、失敗したらそこから学ぶということです。失敗を恐れず、いろんなことにチャレンジをしてください。**七尾中学校の先生は、失敗した皆さんを何度でも支え、励まします。**

そして、主役である生徒のみなさんは、「**失敗を恐れて何もしないことが、取り返しのつかない失敗**」であることを忘れないでください。

二つ目です。本校の校訓についてです。**七尾中学校の校訓は「感　考　行」**です。三文字だけの校訓は、全国的にも珍しく、実にシンプルで覚えやすい校訓です。このシンプルな校訓は、およそ６５年前の昭和の時代に考えられた校訓ですが、その意味するところは、令和の今の時代にとっても、非常に通ずるところがあります。**「感　考　行」とは、「自ら感じ気づき、自分の頭で考え、主体的に行動する」こと**を意味します。

今の令和の時代は、多様性の時代であり、価値観も人それぞれ違います。皆と同じが良しとされた時代から、自分らしくいることが良しとされる時代になっています。このような時代だからこそ、自ら選び、判断し、結果に対して責任を持つことが大切になります。**答えは誰かに教えてもらうものではなく、自ら見つけるものになっています。**

自ら答えを見つけていくために必要な過程が、「感　考　行」です。新入生のみなさん、このすばらしい校訓を胸に刻んで、一つでも多くの自分だけの答えを見つけていってください。＜後文略＞

教職員紹介

学年等	名前	教科・部活動	役職等	名前	教科・部活動
校長	雨河　譲		SSR 担当	黒谷　幸男	保体・男子バスケットボール
教頭	廣田　泰三	（体罰・セクハラ相談窓口）	養護教諭	柳　香穂	（体罰・セクハラ相談窓口）
事務主任	野上　麻由美		拠点校指導教員	池田　稔彦	（初任者指導）
１－１担任㊥	森岡　恵美	英語・美術	非常勤講師	藤井　和恵	数学
１－２担任	吉野　奈緒美	家庭科・男子バスケットボール	非常勤講師	吉上　隆	数学
１－３担任	山下　寧々	理科・陸上	非常勤講師	東畑　恵理	理科
１－４担任	杉山　愛実	音楽・吹奏楽	非常勤講師	小倉　真佳	保体
１年副担任㊦	川本　宏	保体（体罰・セクハラ相談窓口）・柔道	非常勤講師	吉田　隆	技術
１年副担任	平田　恵子	国語・バレーボール	非常勤講師	羽田　直子	英語
すばる学級担任	宮﨑　恭	社会・バレーボール	非常勤講師	伊崎　恵美子	（すばる学級支援）
２－１担任	大塚　みなみ	英語・女子バスケットボール	ALT	Ryan　CARRIER	
２－２担任	田房　美穂	理科・ソフトテニス	スクールカウンセラー	村上　拓人	木曜日勤務
２－３担任㊥	中村　達也	数学・サッカー	スクールソーシャルワーカー	赤木　英子	月・木・金　勤務
２－４担任㊏	横澤　ひかる	国語・美術	スクールサポートスタッフ	岩﨑　美恵	
２年副担任㊧	生田　泰文	美術・剣道	子どもつながり支援員	岡谷　幸恵	
２年副担任	木下　翔太郎	社会・陸上	子どもつながり支援員	岩本　雪	
ぎんが学級担任	藤原　泰輔	音楽・吹奏楽	子どもつながり支援員	山口　司	
３－１担任	堀田　大輔	英語・ソフトテニス	子どもつながり支援員	笹木　真木子	
３－２担任㊥	木下　美紀	社会・家庭科	子どもつながり支援員	田村　知枝	
３－３担任㊤	吉本　庄吾	技術・女子バスケットボール	読書活動推進員	堀　久恵	
３－４担任	森中　浩貴	保体・野球	学校技術員	下村　幹治	
３年副担任㊩	岡本　浩子	国語・グローバル・文芸書道	学校技術員	影山　伸治	
３年副担任	吉本　邦治	数学	売店	辰井　桂子	

※表中の〇文字については、㊧→指導教諭、㊩→教務主任、㊦→生徒指導主事、
　㊏→研究主任、㊤→進路指導主事、㊥→学年主任　を表しています。
※SSR（スペシャル・サポート・ルーム）は校内適応指導教室です。
　利用については、教頭あるいは黒谷教諭にご相談ください。

４月１日就任者お出迎えの様子→

テトル（連絡ツール）の登録について

今年度から、廿日市市内の全小・中学校で共通の学校と家庭の連絡ツールが導入されました。

このツールを活用して、市内全ての小・中学校が各家庭への連絡や配布物の配信、アンケート、臨時休校等の緊急連絡等を行います。また、各家庭から学校へ遅刻・欠席の連絡も行います。

テトルの登録が完了していない方は、至急登録をお願いします。テトルに関して不明な点があれば、ヘルプデスク（０１２０－０７０－２２１）までご連絡ください。

教職員の勤務時間外の電話対応について

昨今、学校における教職員の多忙化、長時間勤務の状態化が話題となっています。廿日市市においてはそれらの課題を解消するための一つの手段として、廿日市市教育委員会と廿日市市PTA連合会が協議を行い、勤務時間外の電話対応を以下のようにすることとしております。

① 平日の電話対応は、午前７時45分から午後６時までとします。
② 休日の電話対応は行いません。
③ 長期休業中は、午前８時15分から午後４時45分までとします。
④ 学校から家庭への電話についても、上記①～③の対応としますが、生徒の心身の安全に係ることについては、学校からこの時間外に連絡する場合がありますので、ご了承ください。また、その折り返しについては、時間外にかけていただいても構いません。
⑤ 生徒の安全上、緊急に連絡が必要な場合は廿日市警察署（0829－31－0110）等、関係機関にご連絡ください。学校への緊急連絡が必要な場合は、市役所代表電話（0829－20－0001）に連絡し、学校からの折り返しが必要であることを申し出て、お名前と電話番号とご用件をお伝えください。

「生徒が主役の学校」をめざす七尾中学校においては、生徒の安全・安心を守ると同時に、教職員の心身の健康を守り、教職員が良いコンデションで生徒と向き合い学校教育に集中できる環境をつくっていくことが重要だと考えております。保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いします。

生徒が主役の掃除

七尾中学校では、令和２年度から縦割り清掃（学年を超えた班による掃除）に取り組んでいます。始めたきっかけは、「自分たちの学校の誇れるものをつくりたい」という生徒たちの思いでした。

それから５年経ち、今では「生徒のリーダーシップの高まり」、「生徒・先生の学年を超えた生徒の理解」、「生徒の意欲と思いやりの育成」、「生徒の自己肯定感・自己有用感の高まり」など多くの成果を実感しています。そして、しっかり七尾中生徒の誇りとなっています。

先日、縦割り掃除のリーダー会があり、真剣な眼差しでリーダーたちが話を聞いていました。

自分たちの学校のプライドだから、そうなりますよね。

言われるからするのではない。自分たちの学校は、自分たちできれいにする。

これも、立派な生徒が主役の学校の姿です。

←リーダー会に集まるリーダーたち

←縦割り掃除の様子